

## 第2章 教育文化都市をめざして

---

第1節 教 育

第2節 生涯学習

第3節 文 化

第4節 スポーツ・レクリエーション

第5節 青少年健全育成

第6節 男女共同参画社会

第7節 多文化共生



## 第1節 教育

### 1. 幼児教育

#### ■現況と課題

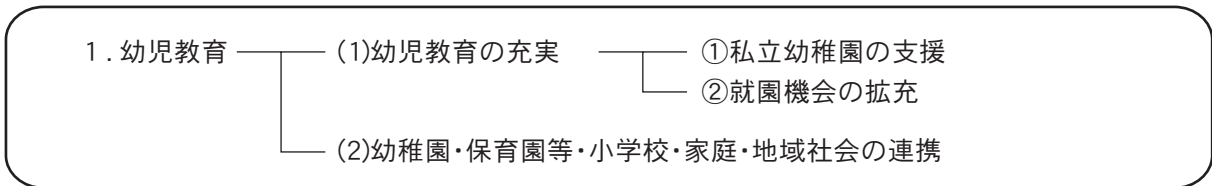
一人ひとりの幼児は、社会においてかけがえのない宝であり、その健やかな成長はすべての人々の願いです。幼児期は、人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、正しい生活習慣の指導や適切な教育が大切です。

小学校教育へのつながりとして、幼児教育の役割はますます重要となっています。少子化の動向等を見据えながら、幼稚園・保育園等・小学校と家庭・地域社会との連携を図っていく必要があります。

#### ■基本方針

望ましい人間形成の基礎を培うため、幼児教育の充実を図るとともに、幼稚園・保育園等・小学校・家庭・地域社会が相互に連携し、幼児が心身ともに健やかに育つ環境づくりを進めます。

#### ■施策の体系



#### ■施策及び施策内容

##### (1) 幼児教育の充実

施 策 内 容	
①私立幼稚園の支援	○市内私立幼稚園設置者に対して、私立幼稚園幼児教育振興費補助金として、教材費、教育研修費、施設・設備等整備費を交付します。
②就園機会の拡充	○私立幼稚園等に在園する満3歳児～5歳児の保護者に対し、経済的負担の軽減を図るため、私立幼稚園等就園奨励費補助金を支給します。 ○障害児保育および預かり保育等への支援を検討します。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
幼稚園教育内容が充実していると感じている市民の割合	29.4 %	40 %

(2) 幼稚園・保育園等・小学校・家庭・地域社会の連携

施 策 内 容
○幼稚園・保育園等・小学校・家庭・地域社会の交流・連携が十分に図れるよう教育環境の充実を図る体制を支援するとともに、子育て相談・情報発信や情報提供などの物的・人的環境の整備など、子育てに必要な支援をします。

■主な事業

幼稚園教育総務事業 / 私立幼稚園教育振興事業

●幼稚園教職員数および園児数

5月1日現在(単位:園、学級、人)

	園 数		学級数	教員数	職員数	園 児 数			
	公立	私立				総数	3歳	4歳	5歳
平成17年度	1	18	135	201	44	3,899	1,019	1,410	1,470
18	1	18	134	197	46	3,987	1,010	1,533	1,444
19	1	18	137	199	49	4,029	982	1,507	1,540
20	1	18	139	204	44	3,991	1,035	1,445	1,511
21	1	18	138	206	43	3,894	998	1,436	1,460

資料:学校基本調査

## 2. 義務教育

### ■現況と課題

本市には、小学校23校、中学校13校(私立2校)がありますが、小中学校の児童生徒数については、宅地開発の進む東葉高速線沿線地区では増加傾向にある一方、先行して市街化した地域では、横ばい・減少傾向にあり、地域による二極化が進んでいます。これらに対応した学校施設の整備や通学区域の見直し、また、学校の統合などによる学校規模の適正化が必要となっています。

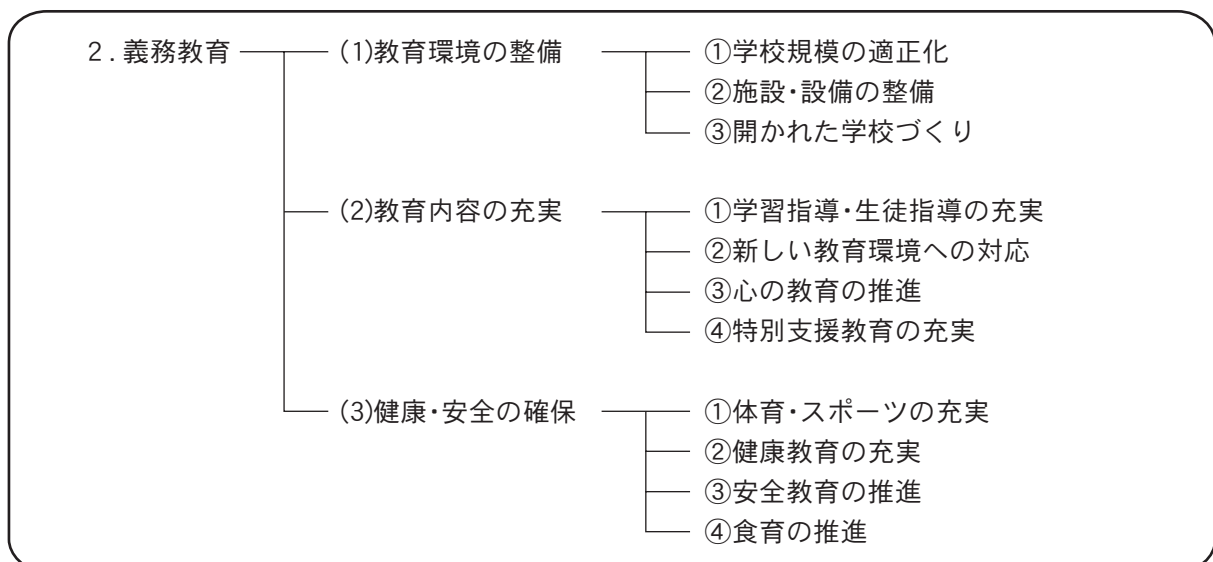
また、教育の現場では、高度情報化社会、国際化社会の進展に対応した教育内容の一層の充実や児童・生徒に「生きる力」を育むことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、知・徳・体のバランスのとれた教育を推進することが強く求められています。

このため、今後も学校・家庭・地域社会との連携を図りながら、基礎学力の向上はもとより、自ら学び、考える力や豊かな人間性を身につけた、健康で心豊かな児童生徒を育てることができる教育環境づくりに取り組んでいく必要があります。

### ■基本方針

子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、安心してのびのびと学ぶことのできる環境や施設の整備、教育内容の一層の充実を図るとともに、学校・家庭・地域社会が一体となって、健康で心豊かな人間性を育む教育環境づくりを推進します。

### ■施策の体系



■ 施策及び施策内容

(1) 教育環境の整備

施策内容	
① 学校規模の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後の開発状況や児童生徒数の動向を見据えながら、通学区域の見直しを検討します。</li> <li>○ 将来のまちづくりの視点から、公共施設として重要な小中学校をどのように配置していくかを、全市的な視点に立って検討します。</li> </ul>
② 施設・設備の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育環境の充実・向上を図るため、各学校の状況を的確に把握し、施設・設備の整備を図るとともに耐震化を含めその更新に努めます。</li> </ul>
③ 開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯学習、福祉、生涯スポーツ活動など地域活動のために、施設の有効活用や体育施設の開放を推進します。</li> <li>○ 地域と共に歩む学校づくりを推進します。</li> </ul>

◆ 指標

区分	現況値	目標値（平成27年度末）
公立小中学校の校舎・体育館の耐震化率	27.9 %	83.1 %



(2)教育内容の充実

施策内容	
①学習指導・生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各小中学校における教職員の研究・研修を支援し、学習指導の向上に努めます。</li> <li>○教師と子どもの信頼関係を高め、学級経営の充実を図るとともに、家庭・地域社会・関係機関との連携を深めながら、積極的な生徒指導に努めます。</li> </ul>
②新しい教育環境への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際理解教育、情報教育、健康教育、キャリア教育、福祉教育などの時代に即した教育を推進するため、各種研修会などを充実し、教職員の資質向上に努めます。</li> <li>○高度な技術や豊かな知識・経験を有する人材の活用や、授業等への地域住民の参加など、地域に根ざした多様な教育活動に努めます。</li> </ul>
③心の教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○命の大切さを認識し、思いやりの心を育み、差別や偏見をなくす人間尊重の精神を、教育活動全体を通して醸成していきます。</li> <li>○いじめ、不登校、さらには問題行動の未然防止やその縮減・解消に向けて、家庭・地域社会・学校との連携を一層深めることに努めます。</li> </ul>
④特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害のある児童生徒が障害の状態に応じた教育が受けられるよう、特別支援学級や通級指導教室の充実に努めます。</li> <li>○特別支援教育のあり方について理解を深め、「交流および共同学習」を進め、学校全体で推進する体制の充実に努めます。</li> <li>○就学指導委員会や特別支援教育専門家チームなど、個々の障害に対応した相談・指導体制の充実に努めます。</li> <li>○特別支援学校など関係機関と連携し、一貫した支援のための体制づくりを進めます。</li> </ul>

◆指 標

区 分	現 況 値	目標値 (平成27年度末)
学校教育内容が充実していると感じている市民の割合	20.1 %	39 %

※キャリア教育＝子どもたちが将来、社会人、職業人として自立していく上で必要な力や勤労観、職業観を身に付ける教育  
 ※通級指導教室＝市内の中学校に通っている言語障害、難聴、学習障害等の障害の軽い児童生徒が、障害の状況に応じ、特定の時間に特別の指導を受けるための教室。

(3)健康・安全の確保

施 策 内 容	
①体育・スポーツの充実	○学校教育活動全体で行う体育活動の推進により、心身の健康の保持・増進を図り、生涯にわたるスポーツライフの基盤づくりの充実に努めます。
②健康教育の充実	○健康教育の一環として保健活動の充実を図り、児童生徒が自ら心身の健康に目を向け、対処できるようにする能力の育成に努めます。
③安全教育の推進	○児童生徒が健康で安全な学校生活を営めるよう、安全管理の徹底、安全教育の推進を図るとともに、子ども達を見守る地域ぐるみの学校安全体制の整備・推進に努めます。
④食育の推進	○学校教育活動全体を通じた食育を充実させるとともに、地産地消に努め、安全でバランスの良い給食を提供するため、施設・設備の衛生管理の徹底および運営の効率化を図り、家庭と連携し、食育の推進に努めま

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
基礎体力指数	小学校 82.5 %	小学校 84 %
	中学校 76.6 %	中学校 80 %

■主な事業

学校適正配置検討事業 / 八千代台東小学校校舎改築事業 / 小中学校校舎耐震改修事業  
 小中学校屋内運動場大規模改修事業(高津小・村上東小・八千代台西中)  
 (仮称)学校給食センター西八千代調理場整備事業



## ●小学校教職員数および児童数

各年5月1日現在(単位:校、学級、人)

	学校数	学級数	教員数	職員数	児童数						
					総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平成17年	21	353	511	71	11,055	1,987	1,838	1,906	1,805	1,771	1,748
18	21	370	526	68	11,345	1,960	2,008	1,862	1,904	1,825	1,786
19	22	384	535	67	11,459	1,865	1,954	2,038	1,865	1,903	1,834
20	22	390	538	67	11,765	2,115	1,884	1,954	2,056	1,868	1,888
21	22	401	556	63	11,906	2,027	2,105	1,902	1,950	2,047	1,875

資料:統計調査室

## ●中学校教職員数および生徒数

公立

各年5月1日現在(単位:校、学級、人)

	学校数	学級数	教員数	職員数	生徒数			
					総数	1年	2年	3年
平成17年	11	128	259	14	4,186	1,397	1,404	1,385
18	11	130	258	14	4,235	1,447	1,393	1,395
19	11	136	273	14	4,375	1,532	1,451	1,392
20	11	140	272	14	4,572	1,583	1,535	1,454
21	11	146	286	15	4,757	1,617	1,595	1,545

私立

各年5月1日現在(単位:校、学級、人)

	学校数	学級数	教員数	職員数	生徒数			
					総数	1年	2年	3年
平成17年	2	27	40	5	1,031	349	362	320
18	2	28	41	5	1,073	373	351	349
19	2	29	41	5	1,095	384	369	342
20	2	29	43	6	1,078	336	382	360
21	2	28	44	7	1,057	360	333	364

資料:統計調査室

●小学校別学級数および児童数

平成22年5月1日現在(単位:学級、人)

学校名	全学級数	特別支援学級							児童数		
		知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	情緒障害	総数	男	女
睦小	12		—	—	—	—			307	163	144
阿蘇小	6		—	—	—	—			114	59	55
米本小	7	2	—	—	—	—			204	104	100
米本南小	6		—	—	—	—		1	193	105	88
村上小	30		—	—	—	—			982	514	468
村上東小	25	2	—	—	—	—			786	424	362
村上北小	6		—	—	—	—			155	83	72
勝田台小	20	1	—	—	—	—			600	325	275
勝田台南小	10	2	—	—	—	—		1	267	133	134
大和田小	24		—	—	—	—			778	382	396
大和田南小	19		—	—	—	—			600	294	306
大和田西小	34		—	—	—	—			1,162	586	576
西高津小	18	2	—	—	—	—			489	247	242
高津小	19		—	—	—	—			631	304	327
南高津小	12	3	—	—	—	—			316	150	166
八千代台小	12		—	—	—	—	1		412	215	197
八千代台東小	12		—	—	—	—			389	201	188
八千代台西小	13		—	—	—	—			367	171	196
八千代台東第二小	10		—	—	—	—			252	124	128
新木戸小	30		—	—	—	—			964	510	454
萱田小	30		—	—	—	—			1,032	501	531
萱田南小	20		—	—	—	—			660	339	321
みどりが丘小	12		—	—	—	—			343	158	185

資料:教育委員会(学務課)

## ● 中学校別学級数および生徒数

平成22年5月1日現在(単位:学級、人)

学校名	全学級数	特別支援学級							生徒数		
		知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	情緒障害	総数	男	女
市立											
睦中	6	—	—	—	—	—	—	—	153	81	72
阿蘇中	9	1	—	—	—	—	—	—	267	134	133
村上東中	12	—	—	—	—	—	—	—	404	222	182
勝田台中	10	2	—	—	—	—	—	—	344	174	170
大和田中	21	—	—	—	—	—	—	—	778	411	367
高津中	23	1	—	—	—	—	—	—	808	427	381
八千代中	10	2	—	—	—	—	—	—	367	187	180
八千代台西中	11	—	—	—	—	—	—	—	362	193	169
村上中	12	—	—	—	—	—	—	—	413	208	205
東高津中	9	—	—	—	—	—	—	—	277	152	125
萱田中	19	—	—	—	—	—	—	—	680	340	340
私立											
秀明八千代中	9	—	—	—	—	—	—	—	291	165	126
八千代松陰中	18	—	—	—	—	—	—	—	732	402	330

資料:教育委員会(学務課)、各私立中学校



### 3. 高校・大学教育

#### ■現況と課題

高校は、小中学校・地域との連携を深め、大学は、大学公開講座など、大学機能の地域開放を促進し、地域との交流を拡大していく必要があります。

#### ■基本方針

高校・大学等との連携・交流・開放を促進します。

#### ■施策の体系

3. 高校・大学教育 —— (1)大学等教育機関との連携

#### ■施策及び施策内容

##### (1)大学等教育機関との連携

#### 施 策 内 容

○高校・大学が有する教育資源を地域社会で活用できるよう、連携を強化します。また、高校との連携・大学の地域社会への開放の促進に努めます。

#### ■主な事業

大学公開講座促進 / 大学公開講座の支援

#### ●高等学校教職員数および生徒数

公 立

各年5月1日現在(単位:人)

	学校数	学級数	教員数	職員数	生 徒 数			
					総数	1年	2年	3年
平成17年	3	56	147	21	2,121	731	699	691
18	3	55	141	20	2,073	731	670	672
19	3	54	137	19	2,031	729	662	640
20	3	54	138	19	2,041	730	669	642
21	3	54	136	19	2,064	733	675	656

資料:学校基本調査(私立の学級数は各高等学校)

## 私 立

各年5月1日現在(単位:人)

	学校数	学級数	教員数	職員数	生徒数			
					総数	1年	2年	3年
平成17年	3	111	183	28	4,322	1,291	1,413	1,618
18	3	111	184	25	4,237	1,598	1,259	1,380
19	3	115	179	27	4,354	1,560	1,550	1,244
20	3	122	187	27	4,698	1,684	1,516	1,498
21	3	120	189	27	4,590	1,474	1,619	1,497

資料:学校基本調査(私立の学級数は各高等学校)

## ●高等学校別学級数及び生徒数

平成21年5月1日現在(単位:人)

学校名	学級数	生徒数			
		総数	男	女	市内居住 (再掲)
県立					
八千代高	24	980	425	555	204
八千代東高	18	732	329	403	281
八千代西高	12	352	181	171	129
私立					
千葉英和高	31	1,223	622	601	255
八千代松陰高	49	2,009	1,180	829	357
秀明八千代高	40	1,358	967	391	219

資料:各高等学校

## ●大学教職員数及び学生数

各年4月1日現在(単位:人)

	学校数	本務職員数			学生数		
		総数	教員	その他	総数	男	女
平成17年	2	159	100	59	2,426	1,539	887
18	2	169	110	59	2,273	1,460	813
19	2	168	111	57	2,115	1,356	759
20	2	164	120	44	2,021	1,304	717
21	2	186	138	48	2,016	1,244	772

※「その他」は、事務職員等。ただし非常勤職員は含まない。

資料:東京成徳大学, 秀明大学

## 第2節 生涯学習

### 1. 生涯学習

#### ■現況と課題

科学技術の進歩や少子・高齢化、情報化、国際化など私たちを取り巻く社会情勢は、近年急激に変化し続けています。

この変化に対応し、人間性豊かで充実した生活を送るため、市民の生涯学習に対するニーズは多様で高度なものになってきています。

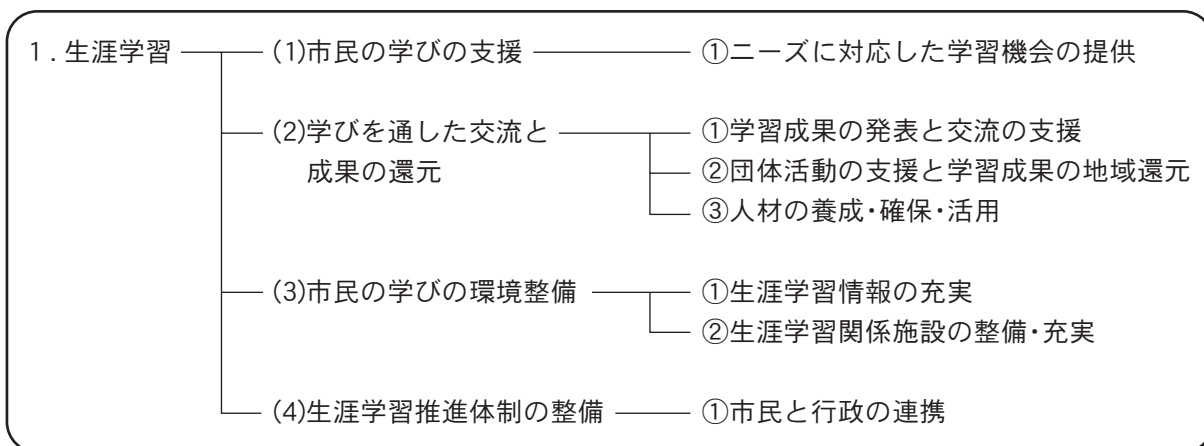
このような学習ニーズの高まりに対応するため、生涯いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価されるような社会、すなわち「生涯学習社会」を構築していくことが求められています。

そのため、学習機会の拡充や人材の育成、情報の提供等の学習支援体制の充実を図り、学びを通じた市民の交流や学習成果の地域への還元に努めるとともに、生涯学習推進体制の整備や学習施設の充実を図るなど、生涯学習に関する施策を総合的・効率的に推進していく必要があります。

#### ■基本方針

だれでもが生涯を通じて質の高い教育や学習に取り組み、その成果を生かすことのできる社会を実現するため、情報の提供による学習支援体制の充実を図り、学びを通じた市民の交流と学習成果の地域への還元に努めるほか、生涯学習推進体制の整備や学習施設の充実を図るなど、生涯学習に関する施策を総合的・効率的に推進します。

#### ■施策の体系



## ■ 施策及び施策内容

## (1) 市民の学びの支援

施策内容	
① ニーズに対応した学習機会の提供	○ 誰もが身近な場所で、多様なニーズに応じた学習機会を得ることができるよう、日時や参加対象の設定を工夫した講座・教室などを開催します。

## ◆ 指標

区分	現況値	目標値（平成27年度末）
まちづくりふれあい講座の開催回数	242 回	650 回
公民館主催講座数	585 講座	690 講座
家庭教育学級設置数	13 学級	17 学級

## (2) 学びを通じた交流と成果の還元

施策内容	
① 学習成果の発表と交流の支援	○ 学習成果の発表や、学びを通じた交流活動について、それぞれの実情に応じた適切な支援を行い、活動の充実を図ります。
② 団体活動の支援と学習成果の地域還元	○ 活動機会の拡充や情報提供などを通して、市民団体の活動を支援し、学習成果の地域への還元を促進します。
③ 人材の養成・確保・活用	○ 現在行われている各種の人材活用事業について、ボランティアを求める需要者と適切にコーディネートする体制を整備すること、様々な人材を確保すること、今後特に期待される団塊の世代の力を活かすことなどを通じて、一層の推進を図ります。 ○ 生涯学習の支援者・助言者として職員の資質や能力を向上させるため、各種研修への参加等を通じて職員の資質・能力の向上を図ります。

◆指 標

区 分	現 況 値	目標値（平成27年度末）
公民館サークル数	388 サークル	395 サークル
生涯学習ボランティアバンク登録者数	18 人	60 人

(3)市民の学びの環境整備

施 策 内 容	
①生涯学習情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市の生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」について周知を図るとともに、同システムによる情報提供を充実させます。</li> <li>○インターネット以外にも様々な情報媒体による情報の提供を図るほか、情報通信機器の活用技術を習得する機会を提供します。</li> <li>○関係機関が連携し、情報の共有化を図った上で、市民の求める情報を適切に提供する学習相談を行います。</li> </ul>
②生涯学習関係施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既存施設の弾力的な運用を図るとともに、市民のニーズを的確に把握し、全市的な観点で生涯学習関係施設の計画的な改修を行います。また、図書館全体の中核としての役割を果たす中央図書館を整備します。</li> <li>○施設の利用について、市民のライフスタイルの多様化が進んでいることから、それらを考慮した申込方法や利用時間等を検討します。</li> </ul>

◆指 標

区 分	現 況 値	目標値（平成27年度末）
生涯学習情報が得られやすいと感じている市民の割合	17.7 %	50 %
市民一人当たりの年間図書貸し出し冊数	6.27 冊	8.6 冊

(4)生涯学習推進体制の整備

施 策 内 容	
①市民と行政の連携	○生涯学習行政を推進するに当たり、市民と行政の多岐にわたる連携を図ります。



■主な事業

子ども読書活動推進事業 / ブックスタート事業 / 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業

●まちづくりふれあい講座実施状況

	講座数	開催回数	参加人数
	講座	回	人
平成17年度	54	266	11,811
18	49	347	17,349
19	51	404	19,157
20	52	436	17,172
21	50	242	10,420

資料：生涯学習振興課

●公民館施設の概要

平成21年度

	開館	建物延床面積	主な部屋数	利用者数
		m <sup>2</sup>		人
大和田公民館	昭和52.4	356.64	講習室(1) 調理室(1) 和室(1) 会議室(1)	20,001
阿蘇公民館	53.6	363.16	講習室(1) 図書室(1) 和室(1) 調理室(1)	12,697 (2,710)
高津公民館	54.6	510.00	講習室(1) 工作室(1) 和室(1) 調理室(1) 視聴覚室(1)	15,597
勝田台公民館	55.6	531.55	講習室(1) 会議室(1) 和室(1) 調理室(1) 体育室(1)	25,517
八千代台公民館	56.6	559.07	会議室(1) 研修室(1) 和室(1) 調理室(1) 工作室(1)	35,329
村上公民館	57.6	559.62	講習室(1) 会議室(1) 和室(1) 調理室(1) 工作室(1)	24,901
睦公民館	58.6	589.71	講習室(1) 会議室(1) 和室(1) 視聴覚室(1)* 調理室(1)* 図書室(1) *音楽室(1)[*印は睦中学校と共有]	16,118 (1,702)
八千代台東南公民館	平成元.6	582.81	会議室(1) 工作室(1) 和室(1)	25,519
緑が丘公民館	16.4	664.12	講習室(1) 会議室(1) 和室(1) 調理室(1) 工作室(1) 保育室(1) 集会ホール(1)	56,741

※利用者数は図書室利用者も含む。( )は図書室利用者

資料：各公民館

● 図書館利用状況

(単位:人)

	登録者数										
	総数	大和田図書館		移動図書館		八千代台図書館		勝田図書館		緑が丘図書館	
		児童	一般	児童	一般	児童	一般	児童	一般	児童	一般
平成17年度	45,878	1,972	5,942	1,262	440	1,483	7,560	2,467	12,262	3,487	9,003
18	47,267	2,756	6,367	—	—	1,194	7,397	2,042	12,028	4,019	11,464
19	45,872	2,413	6,213	—	—	1,110	7,021	1,845	11,704	4,120	11,446
20	45,876	2,269	5,978	—	—	1,174	6,741	1,880	11,263	4,607	11,964
21	46,104	1,977	6,022	—	—	1,049	6,665	1,700	11,297	4,786	12,608

(単位:冊)

	貸出冊数											
	総数	大和田図書館		移動図書館		八千代台図書館		勝田図書館		緑が丘図書館		
		児童書	一般書	児童書	一般書	児童書	一般書	児童書	一般書	児童書	一般書	
平成17年度	928,788	54,451	98,494	5,524	3,049	31,065	121,682	49,236	161,924	141,925	261,438	
18	987,198	63,736	102,414	—	—	30,258	119,217	49,261	168,380	157,602	296,330	
19	1,017,886	61,714	106,633	—	—	33,415	111,926	55,061	170,195	156,437	322,505	
20	1,125,634	76,016	115,872	—	—	36,372	119,207	59,680	182,851	172,678	362,958	
21	1,185,232	74,882	127,459	—	—	36,257	121,758	63,490	196,587	175,804	388,995	

※移動図書館は平成17年度末で廃止

資料:生涯学習振興課



## 第3節 文化

### 1. 市民文化

#### ■現況と課題

現在の社会は、ライフスタイルや社会情勢が大きく変化してきており、市民の価値観は物の豊かさに加え、心の豊かさを求める傾向にあり、市民が主体的に文化芸術に触れ、活動することができる環境の整備が求められています。

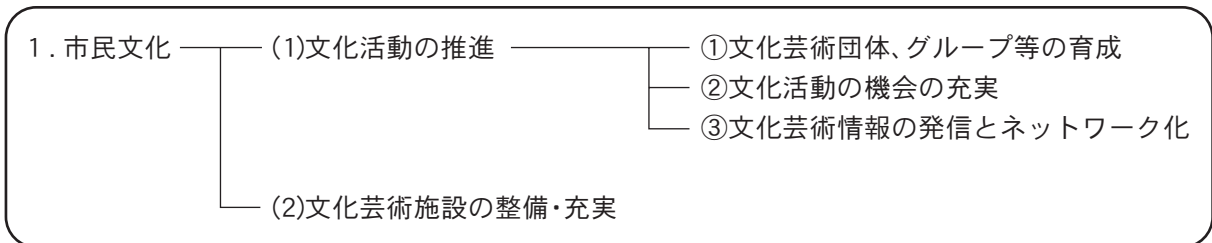
本市には、芸術文化協会を中心とする文化芸術団体が数多くあり、公民館のサークル活動を含め、幅広い分野にわたり、文化芸術活動が活発に行われています。

こうした活動は、個性と魅力あるまちづくりや市民の一体感の醸成に欠かせない重要な要素であることから、今後とも団体や指導者の育成をはじめ、市民主体の文化芸術活動の活性化を促す環境づくりを進めていく必要があります。

#### ■基本方針

市民の自主的な文化芸術活動への支援体制を充実し、文化芸術団体やグループおよびその活動を支える人材の育成と、活動機会の提供に努めるとともに、市民の活動の拠点となる文化芸術施設の整備、充実を図ります。

#### ■施策の体系



■ 施策及び施策内容

(1) 文化活動の推進

施 策 内 容	
①文化芸術団体、グループ等の育成	○地域における市民の自主的な文化活動を振興するとともに、身近において優れた文化芸術に触れる機会を醸成するため、市内の文化芸術団体を育成し、活動を支援します。
②文化活動の機会の充実	○市民文化祭をはじめ、多彩な文化的行事を開催し、市民が優れた文化芸術を学び鑑賞する機会の提供および創作・発表する機会の拡充を図ります。
③文化芸術情報の発信とネットワーク化	○市の文化芸術資源を発掘し、その情報を発信していくことで市民への浸透を図ります。また市内の各種団体および財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団との連携を図り、文化芸術情報のネットワーク化を図ります。

◆ 指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
市民文化祭参加団体数	33 団体	50 団体

(2) 文化・芸術施設の整備・充実

施 策 内 容
○市民の多様な文化活動のニーズに対応するため、施設の整備・充実に努めます。 ○市の収蔵美術品の紹介や市民の美術作品発表の機会を提供するための市民ギャラリーを整備します。

◆ 指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
文化施設利用人数(星裏一版画展示室除)	284,649人	331,500人

■ 主な事業

市民会館リニューアル整備事業 / 八千代市中央図書館・市民ギャラリー整備事業  
文化芸術団体育成事業

● 市民会館利用状況

	総 数		大ホール(ホワイエ含む)		小ホール(ロビー含む)		会議室等		星 裏 一 版 画 展 示 室
	件	人	件	人	件	人	件	人	人
平成17年度	1,691	158,745	177	93,823	149	28,938	1,365	33,915	2,069
18	1,566	168,538	174	96,859	166	33,159	1,226	36,455	2,065
19	1,467	151,917	181	89,965	162	29,234	1,124	30,724	1,994
20	1,591	157,883	171	85,821	184	33,222	1,236	36,663	2,177
21	1,508	142,889	189	80,312	160	27,553	1,159	32,820	2,204

資料：(財)八千代市文化・スポーツ振興財団

● 文化センター利用状況

	総 計		八千代台		勝田台									
	件	人	ホール		ホール		展示室		音楽室		スタジオ		ステーション ギャラリー	
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
平成17年度	1,883	142,826	616	29,471	206	26,468	321	15,817	372	9,383	301	1,739	67	59,948
18	2,059	137,011	662	29,158	250	32,951	348	15,953	357	9,228	370	1,760	72	47,961
19	2,073	138,727	628	29,810	200	25,472	344	19,815	375	11,122	449	2,004	77	50,504
20	2,038	145,673	599	30,213	248	30,664	335	17,441	391	11,262	396	1,836	69	54,257
21	2,163	143,964	618	30,989	263	30,487	316	17,904	338	11,848	564	2,030	64	50,706

資料：(財)八千代市文化・スポーツ振興財団



## 2. 文化財

### ■現況と課題

市内には、歴史や風土の中で培われ育まれてきた様々な文化遺産が数多く残されており、市の貴重な文化の資産となっていますが、都市化の進展および社会や生活環境の変化の中で失われ、忘れられようとしているものも少なくありません。

本市においても、重要なものを市の文化財に指定するなど、その保存および保護に努めてきました。また、郷土博物館での展示および保存会などが行う民俗芸能や伝統文化の保存・継承活動の支援を進めています。

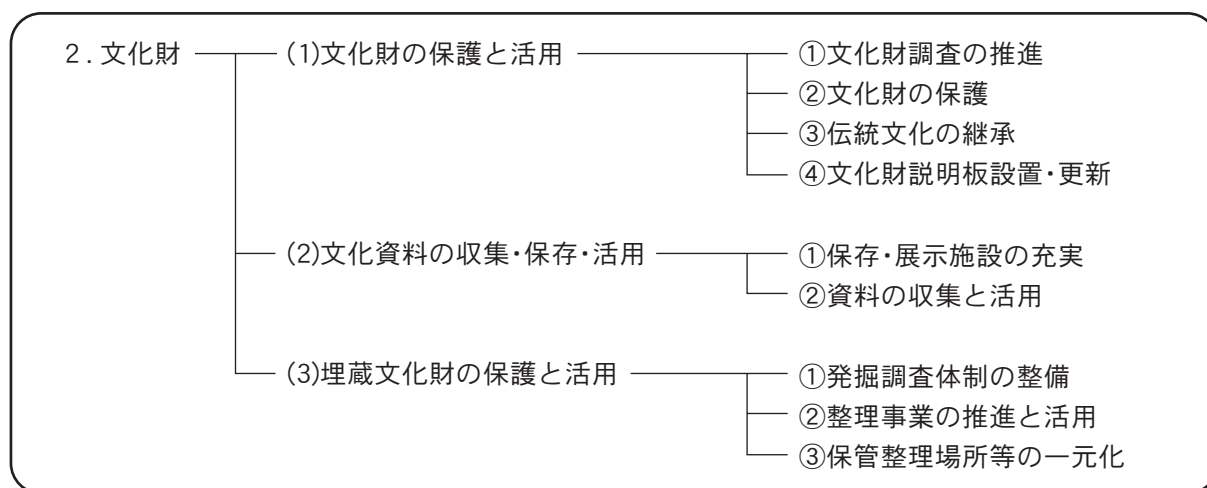
今後も残された文化遺産の調査・研究を進め、その保護と保存に努めるとともに、民俗芸能の鑑賞や祭等の伝統的な文化活動への市民参加の推進を図り、地域文化への認識を深め、次代へと継承していく必要があります。

また、埋蔵文化財の発掘調査で出土した資料の管理・整理場所の一元化を図り、併せて出土文化財の展示を行う場所の確保が必要となってきています。この一元化により、市民への出土文化財の広報・普及活動も迅速化し、市民の文化財保護への関心に対応する必要があります。

### ■基本方針

貴重な文化財を次代に継承していくために、郷土の歴史や文化に対する市民の理解と認識を深めるとともに、文化財の調査・研究に努め、保護と活用を図ります。

### ■施策の体系



## ■ 施策及び施策内容

## (1) 文化財の保護と活用

施 策 内 容	
①文化財調査の推進	○文化財の調査・研究に努め、重要なものを市の文化財に指定し、保護と活用を図ります。
②文化財の保護	○文化財を次代に継承していくため、文化財保護の普及・啓発に努めるとともに、維持管理の支援やその後継者の育成を図ります。
③伝統文化の継承	○伝統文化や民俗文化の保存や継承のための基礎調査を推進します。 ○社会や環境の変化に伴い変貌している伝統文化について、映像や音声による記録保存や復活などにむけた資料の調査・整理に努め、その振興を図ります。
④文化財説明板 設置・更新	○更新時期をむかえた文化財説明板や、未設置の市指定文化財などの文化財説明板の設置・更新を図ります。

## ◆ 指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
市指定文化財件数	25 件	28 件

## (2) 文化資料の収集・保存・活用

施 策 内 容	
①保存・展示施設の充 実	○文化財の適切な保存・管理を図るとともに、一般公開や企画展の開催のため、保存・展示施設の充実を図ります。 ○伝統文化の保存伝承および後継者の育成のため、文化伝承館の維持管理、充実を図ります。
②資料の収集と活用	○収集した資料の活用のため講座・常設展・企画展の充実を図ります。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
郷土博物館入館者数	14,093 人	20,000 人
文化伝承館入館者数	17,828 人	22,500 人

(3)埋蔵文化財の保護と活用

施 策 内 容	
①発掘調査体制の整備	○貴重な埋蔵文化財が開発により失われることがないよう、関係機関との連携を強化し、遺跡調査や発掘体制の整備・充実を図ります。
②整理事業の推進と活用	○出土資料の整理事業に積極的に取り組むとともに、資料を活用した学習機会の提供に努めます。
③保管整理場所等の一元化	○整理事業の効率化を促進するため、整理作業と出土資料の保管場所および展示の一元化を図ります。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
埋蔵文化財発掘調査件数	16 件／年	20 件／年

■主な事業

文化財保護普及事業 / 郷土博物館運営事業 / 文化伝承館運営事業



## ●市指定文化財

(平成21年12月31日現在)

	種別 (細分)	名称	所在地又は伝承地	管理者等	指定年月日
県	有形文化財 (彫刻)	木造釈迦如来立像	村上1530-1	正覚院	S35.6.3
	民俗文化財 (無形)	下総三山の七年祭り	船橋市三山5-20-1 二宮神社	七年まつり保存会	H16.3.30
市	民俗文化財 (無形)	佐山の獅子舞	佐山1921 熱田神社 佐山2118 妙福寺	佐山獅子舞保存会	S47.2.22
		村上之神楽	村上433 七百余所神社	村上神楽保存会	S47.2.22
		勝田の獅子舞	勝田572 駒形神社 勝田592 円福寺	勝田大同団	S51.8.13
		高津のハツカビシヤ	高津294 高津比咩神社	高津自治会特別委員会	H15.1.24
		高津新田のカラスビシヤ	八千代台西9-3-15 諏訪神社	高津新田カラスビシヤ保存会	H15.1.24
	民俗文化財 (有形)	戒壇石(銘、禁芸術売買之輩)	米本1587	長福寺	S53.11.11
		下総式板碑	神野744 玉蔵院	神野区	S53.12.13
		雨乞い祈祷の絵馬	萱田476	飯綱神社	S56.12.21
		伝・村上綱清の墓石	米本1587	長福寺	S56.12.21
		長福寺の板碑一括	米本1587	長福寺	S56.12.21
		神馬の絵馬	萱田476	飯綱神社	S56.12.21
		飯綱神社の玉垣彫物	萱田476	飯綱神社	S56.12.21
	有形文化財 (建造物)	正覚院釈迦堂	村上1530-1	正覚院	S52.12.10
		宝篋印塔	村上1530-1	正覚院	S53.11.11
		飯綱神社鐘楼	萱田476	飯綱神社	S63.7.1
		飯綱神社本殿他	萱田476	飯綱神社	H4.6.25
		米本稻荷神社本殿	米本2424	稻荷神社	H8.4.1
	有形文化財 (歴史資料)	羯鼓	村上1170-2	村上神楽保存会 郷土博物館(寄託)	S53.11.11
		下総国印旛沼 御普請堀割絵図	村上1170-2	個人蔵 郷土博物館(寄託)	S53.11.11
		天保七年米本村絵図	村上1170-2	個人蔵 郷土博物館(寄託)	H12.12.22
	有形文化財 (彫刻)	すわり地藏	米本2559-1	米本区	S53.12.13
	記念物 (史跡)	七百余所神社古墳	村上433	七百余所神社	S53.11.11
		根上神社古墳	村上2698	根上神社	S53.11.11
天然記念物	イヌザクラ	村上2819-1	浅間神社	H6.12.26	
有形文化財 (考古資料)	石枕	村上1170-2	郷土博物館	H20.1.18	

資料:教育委員会(教育総務課)

## 第4節 スポーツ・レクリエーション

### 1. スポーツ・レクリエーション

#### ■現況と課題

スポーツは、健康や体力の維持・増進に役立つだけでなく、人々の親睦や交流を深め、豊かな地域社会を形成するものとして、重要な役割を担っています。

本市では、スポーツ団体への活動支援や体育協会の育成強化を図り、地域スポーツ体制の強化に努め、スポーツ競技力の向上や市民の健康増進・余暇活動の充実に向け、各種スポーツ大会・教室の開催を支援しています。

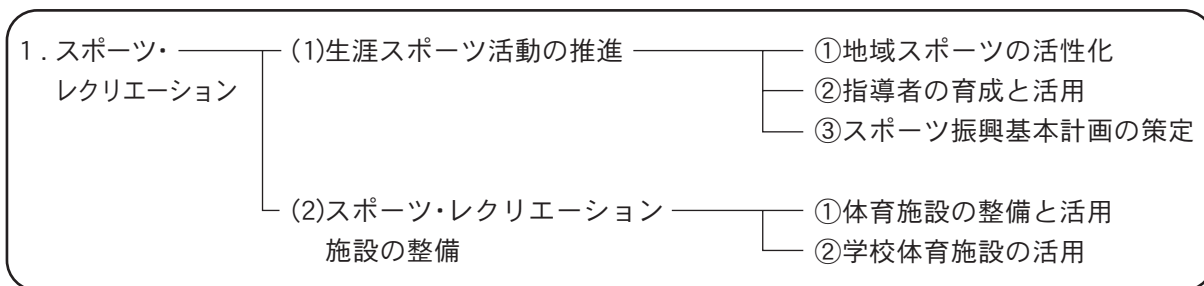
また、近年健康・体力づくりに対する関心が高まる中、市民のスポーツに対するニーズは増大・多様化の傾向にあり、市民が生涯にわたってそれぞれの年齢や体力に応じたスポーツ活動が行える環境づくりも一層求められています。

このため、スポーツ施設の整備を進めていくとともに、指導者、各種スポーツ団体、クラブなどの育成や人生の各期に応じたスポーツの普及などスポーツ活動の場と機会の充実を進めていく必要があります。

#### ■基本方針

市民のスポーツ・レクリエーションに関する自発的な活動を支援するとともに、体育協会をはじめ各種スポーツ団体・地域スポーツクラブの育成に努めます。また、指導者やボランティアの育成・確保を図り、広く市民がスポーツ・レクリエーションを行うことができるよう、推進体制の確立と施設の整備・充実に努めます。

#### ■施策の体系



■ 施策及び施策内容

(1) 生涯スポーツ活動の推進

施 策 内 容	
①地域スポーツの活性化	○各種スポーツ団体の活動を支援し、地域に密着した団体の育成に努めます。 また、地域のスポーツ活動を活性化させるために、総合型地域スポーツクラブの設立を支援していきます。今後は、7つの地域コミュニティにひとつでも多く総合型地域スポーツクラブが設立するように各方面や関係団体と調整していきます。
②指導者の育成と活用	○本市のスポーツの実態に合った指導者の育成や、指導者相互のネットワーク化を確立し、情報の交換を図りながら市民のスポーツニーズに応じて指導者を活用していきます。
③スポーツ振興基本計画の策定	○生涯スポーツに関する施策の総合的・効果的な推進を図るため、スポーツ振興基本計画を策定します。

◆ 指 標

区 分	現 況 値	目標値（平成27年度末）
スポーツ団体加盟人数	17,461 人	18,950 人
スポーツ指導者数	292 人	670 人

(2) スポーツ・レクリエーション施設の整備

施 策 内 容	
① 体育施設の整備と活用	○全市的なスポーツ大会やスポーツイベントの開催など、多目的に利用できる市民スポーツの中核として、総合グラウンドを新たに整備します。 ○地域スポーツの活動拠点として活用するため、既存施設を有効に活用します。
② 学校体育施設の活用	○小中学校の体育施設(校庭・体育館・プール)は地域のスポーツ活動の場として重要な役割を果たしています。今後も市民がスポーツ活動に親しめるよう、学校体育施設の有効活用を推進していきます。

※総合型地域スポーツクラブ＝身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できるという特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

■ 主な事業

総合グラウンド建設事業 / 国際少年スポーツ交流事業 / 各種スポーツ団体運営事業

● 運動施設利用状況

(単位:人)

年 度	総利用者数	総合運動 公 園 野球場	萱田近隣 公 園 野球場	多目的 広 場	村 上 グランド	総合運動 公 園 庭球場	萱田近隣 公 園 庭球場	市 民 プー ル
平成17年度	521,648	32,717	16,880	69,824	16,974	63,089	10,590	19,453
18	473,537	24,300	11,827	69,540	20,630	57,353	9,908	14,714
19	341,569	24,823	11,396	62,282	20,878	54,603	9,685	17,878
20	306,616	27,831	9,833	49,225	6,571	56,213	9,145	0
21	300,802	14,365	10,602	56,344	9,350	61,835	9,321	0

年 度	市 民 体 育 館							八千代台 近隣公園 体育館
	主体育室	小体育室	第 一 武道室	第 二 武道室	第 三 武道室	トレーニング室	その他	
平成17年度	198,044	9,774	30,589	19,870	6,234	11,732	3,622	12,256
18	170,978	9,316	29,774	18,682	7,072	13,018	4,292	12,133
19	68,795	10,035	19,964	11,847	4,528	9,973	3,233	11,649
20	70,171	11,630	24,252	12,499	5,221	9,815	659	13,551
21	62,138	10,811	24,193	12,538	5,460	10,486	0	13,359

※平成19年度から総利用者数の集計方法が変更となり、大幅減となっている。

資料: (財)八千代市文化・スポーツ振興財団



## 第5節 青少年健全育成

### 1. 青少年健全育成

#### ■現況と課題

本市の次代を担う青少年が、国際的視野と豊かな情操を培い、自主性と社会性を備え、健康で明るい心身とともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

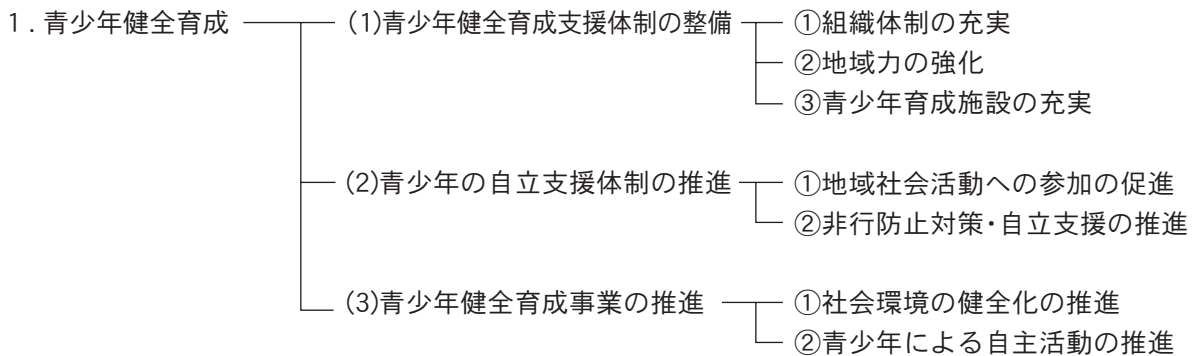
しかし、核家族化・少子化の進行、情報社会の急速な進展など、青少年を取り巻く社会環境は近年著しく変化しています。その中で物質的な豊かさや生活の利便性が増す一方で、心のよりどころとなる社会体験や自然体験などの機会が不足しており、心の豊かさやたくましく生きる力を身につけることのできる環境が求められています。

また、近年の情報技術の発達による青少年に悪影響を及ぼす有害環境の浄化や、青少年自らが積極的に社会参加し自立するための支援の情報提供など、健全な環境を整備していくためには、関係機関や団体、地域住民との連携により地域力を高めていく必要があります。

#### ■基本方針

青少年自らが自己目的を実現するために積極的に社会参加し、自立した人間として必要な判断力、実行力および豊かな感性を身につけるために、家庭・学校・関係機関等および地域住民との連携を図りながら、青少年健全育成施策を計画的・総合的に推進します。

#### ■施策の体系



■ 施策及び施策内容

(1) 青少年健全育成支援体制の整備

施策内容	
① 組織体制の充実	○ 青少年問題協議会を中心に、家庭や学校・地域・関係機関などと連携を深めながら、学校外活動を推進するなど指導・育成体制の充実を図ります。 ○ 青少年相談員、地区青少年健全育成連絡協議会など、関係団体の活動を支援します。
② 地域力の強化	○ 指導者の養成に必要な知識、技術の研修を行うなど、地域の指導者育成や関係団体の活動を支援します。
③ 青少年育成施設の充実	○ 青少年の自主的活動の場であるスポーツ・レクリエーション、文化施設等の充実を図ります。

◆ 指 標

区 分	現 況 値	目標値（平成27年度末）
学校外活動支援団体数	12 団体	14 団体
青少年育成団体数	17 団体	18 団体

(2) 青少年の自立支援体制の推進

施策内容	
① 地域社会活動への参加の促進	○ 青少年がボランティア活動などを通して、社会のルールや自ら考え行動する力を身に付け、社会的に自立できるよう支援します。
② 非行防止対策・自立支援の推進	○ 青少年の非行防止のため、相談や指導体制の充実を図り、街頭指導などの補導活動を推進します。また、再び非行を犯さないよう、地域の人々や関係団体と連携をとりながら、多様な立ち直りの支援を推進します。

(3) 青少年健全育成事業の推進

施策内容	
① 社会環境の健全化の推進	○青少年の健全な環境づくりのために講演会を開催したり、地域の関係団体と連携し、有害図書対策や薬物乱用防止などの啓発活動を推進します。
② 青少年による自主活動の推進	○「八千代市子ども憲章」の目標を日頃の生活の中で実践したり、また様々な交流活動を通して、青少年の視野を広め、親睦・友好を深めるとともに、自主的な参加と活動を推進します。

■ 主な事業

青少年指導育成事業 / 青少年交流事業 / 青少年センター運営事業

● 少年補導状況

(単位:件)

	総数	飲酒	喫煙	薬物乱用	刃物等所持	粗暴行為	金品不正要求	深夜徘徊	家出
平成18年	5,512	140	2,591	1	—	2	—	2,177	—
19	5,582	81	3,005	1	1	6	0	1,733	2
20	1,478	27	809	0	0	0	0	448	1
21	1,085	28	404	1	0	2	0	542	2
22	1,723	48	572	0	1	1	0	906	2

	無断外泊	不健全性的行為	性的いたづら	不良交友	怠学	不健全娯楽	金品持出し	暴走行為	その他
平成18年	18	2	—	429	62	2	—	31	57
19	23	7	0	395	109	2	0	37	180
20	2	0	0	80	11	1	0	11	88
21	9	0	0	12	51	11	2	2	19
22	10	4	0	18	100	15	4	8	34

資料:千葉県警察本部

## 第6節 男女共同参画社会

### 1. 男女共同参画社会

#### ■現況と課題

男女共同参画の理念は様々な分野に広がり、男女共同参画社会の形成は着実に進みつつあります。しかし、意識改革、仕事と家庭や地域生活の両立、女性の職業能力の形成やあらゆる分野での方針決定への参画など、主要な課題の解決は十分に進んでいるとは言えず、また、男性側の課題として、孤立化に伴う日常生活支援や社会情勢の変化による生活困難を抱える人の増加などがあげられます。これらの新たな課題にも対応していかなければなりません。

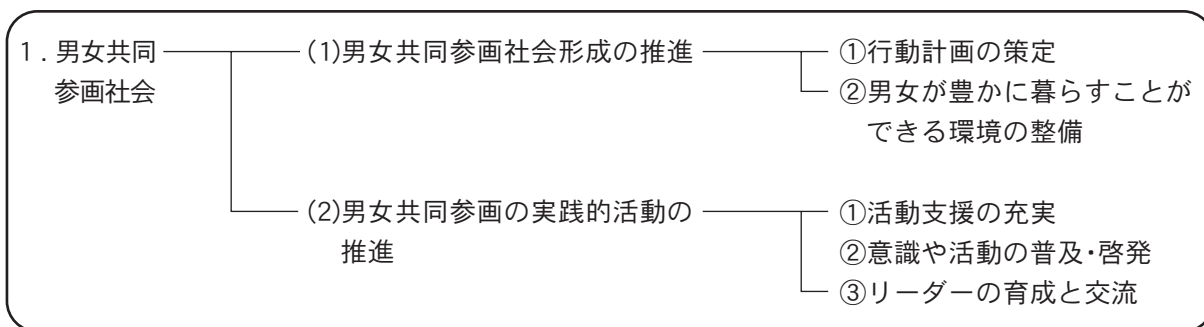
一人ひとりが個性と能力を十分に発揮し、充実した人生を築くためには、女性と男性が等しく認めあい、共に支えあう社会の実現に向けての取り組みが重要です。

そのためには、男女共同参画について一層の意識の醸成を図るとともに、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進し、市民・地域団体・企業等の主体的な参画と連携のもと、実践的に男女共同参画を推進していく必要があります。

#### ■基本方針

男女共同参画社会の実現を目指して、国・県・近隣自治体などとの連携のもと、積極的に男女共同参画施策の推進を図るとともに、市民、地域団体や企業等の主体的な参画による実践的活動の推進などに努め、あらゆる分野における男女共同参画に関する施策を推進します。

#### ■施策の体系





## ■ 施策及び施策内容

## (1) 男女共同参画社会形成の推進

施 策 内 容	
①行動計画の策定	○男女共同参画に関する諸施策を計画的に推進するための調査・研究を行い、施策の指針となる行動計画を策定し実践します。
②男女が豊かに暮らすことができる環境の整備	○男女それぞれの性と人権が尊重され、豊かに暮らすことができる男女共同参画社会の実現に向けて、意識の醸成、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進します。また、様々な分野における多様な主体のネットワーク化による連携・協力を図るための活動拠点や相談体制の充実を図るなど、環境の整備に努めます。

## ◆ 指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
男女共同参画社会が進んでいると感じている市民の割合	12.5 %	15 %

## (2) 男女共同参画の実践的活動の推進

施 策 内 容	
①活動支援の充実	○男女共同参画センター利用者連絡会の設置や市内女性団体・NPO等のネットワークづくりを検討し、市民や事業者の活動支援をするとともに男女共同参画社会づくりの推進を図ります。
②意識や活動の普及・啓発	○男女共同参画社会の実現に向けて、市民意識の普及を図るため、男女共同参画講座の開催をはじめとする各種啓発活動を推進します。 ○学校・家庭・職場などにおける男女共同参画の問題に関する情報紙の発行や企業等との連携に努め、意識の醸成を図ります。
③リーダーの育成と交流	○男女共同参画センター利用者研修会等を通じて、男女共同参画社会づくりを進めるリーダーの育成や交流機会の充実を図ります。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
各種委員会等における女性の登用率	30 %	35 %

■主な事業

男女共同参画に関する情報提供事業 / 女性、こころの悩み電話相談事業  
男女共同参画センター運営事業

●「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という考え方について

(単位：%)

		賛 成	どちらかとい えば賛成	どちらかとい えば反対	反 対	わからない	無回答
八 千 代 市	全 体	12.0	43.4	22.9	10.6	10.9	0.2
	女 性	9.6	39.6	25.5	12.2	12.9	0.2
	男 性	15.8	48.9	19.2	8.2	7.6	0.3
全 国	全 体	10.6	30.7	31.3	23.8	3.6	0.0
	女 性	9.5	27.8	32.0	26.6	4.0	0.0
	男 性	11.9	34.0	30.4	20.7	3.1	0.0

※平成21年度「八千代市の男女共同参画に関する意識調査」・平成21年度内閣府「男女共同参画に関する世論調査」より

資料：男女共同参画センター

## 第7節 多文化共生

### 1. 多文化共生

#### ■現況と課題

本市では、毎年外国人登録者数が増加し、平成21年12月末現在では、4,205人、人口比2.19%となっています。また、この20年間の総人口と外国人登録人口の人口動態では、総人口の増加率が30.0%であるのに対し、外国人登録人口は690.4%にも及んでいます。国籍別では、ブラジルが1,189人と県下で最も多く、市内外国人登録者全体の約28.3%を占めています。これに次いで中国、フィリピン、ペルー、韓国の順になっています。

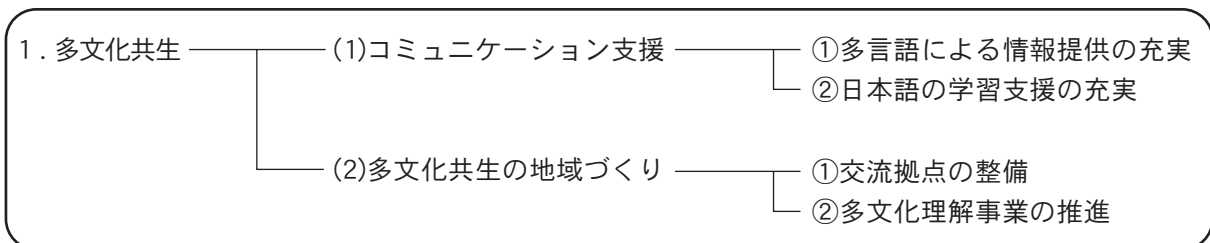
外国人住民が本市の「生活者」として暮らしていけるようにするためには、関係機関などと連携を図りながら日本語や日本の文化を学習できる機会をつくり、また行政からは様々な情報を多言語によってわかりやすく伝えていき、日本の社会について理解を深められるような支援が必要となります。

また、外国人住民だけではなく、市民一人ひとりが多文化共生への理解を深め、国際的な感覚を身につけ、地域の外国人住民との共生意識を高めていく必要があります。

#### ■基本方針

すべての人々が互いの文化を認め合い、良好な関係を築きながら誰もが自立して暮らすことができる「多文化共生社会」の形成を目指します。

#### ■施策の体系



#### ■施策及び施策内容

##### (1) コミュニケーション支援

施策内容	
① 多言語による情報提供の充実	○生活する上で必要な情報を多言語で提供する体制の充実を図ります。 ○外国人のための相談窓口の設置を推進します。
② 日本語の学習支援の充実	○学校や市民団体等と連携し、日本語の習得機会の充実を図ります。 ○日本語指導者の育成を図ります。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
日本語講座の開設数	8 教室	9 教室

(2)多文化共生の地域づくり

施 策 内 容	
①交流拠点の整備	○互いの文化を理解するため、交流機会の提供および交流の場の整備を行います。
②多文化理解事業の推進	○タイラー市、バンコク都などとの国際交流を通じた、多文化理解事業を推進します。

◆指 標

区 分	現 況 値	目 標 値 (平成27年度末)
交流会などへの参加者数	1,597 人	1,677 人

■主な事業

国際推進事業 / 多文化交流センター運営管理事業

●八千代市の総人口に占める外国人登録人口の割合

各年3月末日現在

	総人口	外国人登録人口	外国人登録人口／総人口
昭和63年	145,232 人	353 人	0.24 %
平成5年	152,948	1,614	1.06
10	164,062	2,569	1.57
15	179,062	3,219	1.80
20	188,624	3,815	2.02

資料:戸籍住民課

●千葉県外国人登録人口(上位10カ国)

平成21年12月末現在(外国人登録数:116,958人)

順位	国名	人数	割合	登録人口が多い上位3市		
				1位	2位	3位
1	中国	44,986人	38.5%	千葉市 10,200人	市川市 5,955人	松戸市 5,895人
2	韓国・朝鮮	18,924	16.2	千葉市 4,678	船橋市 1,959	松戸市 1,944
3	フィリピン	17,662	15.1	千葉市 2,643	松戸市 1,914	市原市 1,609
4	ブラジル	5,739	4.9	八千代市 1,189	市原市 658	船橋市 617
5	タイ	5,516	4.7	千葉市 558	市川市 434	市原市 367
6	ペルー	3,525	3	八千代市 488	成田市 488	市川市 338
7	米国	2,308	2	千葉市 445	市川市 238	船橋市 231
8	インド	1,755	1.5	市川市 943	千葉市 213	松戸市 99
9	ベトナム	1,556	1.3	千葉市 274	八千代市 144	松戸市 131
10	スリランカ	1,470	1.3	市川市 228	千葉市 168	船橋市 143

資料:千葉県国際室

